

Press Release

2014年10月

報道関係各位

バイオトロニックジャパン株式会社

MRI検査が可能な条件付きMRI対応両室ペーシング機能付き ペースメーカー・植込み型除細動器用左心室リードを発売

バイオトロニックジャパン株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:ジェフリー・アニス)は、2014年10月より、MRI検査が可能な条件付きMRI対応両室ペーシング機能付きペースメーカー及び同植込み型除細動器に併用することのできる左心室リード「センタス ProMRI OTW BP」の販売を開始いたしました。

昨年10月、弊社は従来MRI検査が禁忌とされていた両室ペーシング機能付き植込み型除細動器(以下、CRT-D)の常識を覆し、特定の条件下でのMRI検査を可能にした本邦初のCRT-D「イレスト 7 CRT-D Pro」を日本で発売しました。続いて本年1月には条件付きMRI対応両室ペーシング機能付きペースメーカー「エヴィア HF-T Pro」を発売しました。近年、条件付きMRI対応のCIEDs(心臓血管植込み型電子デバイス)は新規植込み手術において機種選定のゴールドスタンダードになりつつあり、「イレスト 7 CRT-D Pro」や「エヴィア HF-T Pro」の発売は、待望の製品として非常に多くの患者様、医療関係者の皆様に受け入れられ、日本の医療に大きく貢献できたものと自負しております。

この度弊社が販売開始した「センタス ProMRI OTW BP」は、弊社従来品と異なり、5Frのカテーテルを通じて目標血管へのアプローチが可能です。心臓再同期療法を効果的に行うためには、適切な部位への左心室リードの留置が重要になります。しかし、留置目標となる血管径が細い症例や、屈曲した部位の末梢側に留置しなければならない症例も多く存在します。その場合、「センタス ProMRI OTW BP」は、カテーテルを目標部位に近づけ、その中を通じて当該左心室リードを留置出来るため、より効果的な心臓再同期療法が期待出来ます。



BIOTRONIK社について

バイオトロニック社は世界を代表する心臓血管関連の医療機器製造業者の1つで、ドイツのベルリン本社をはじめとして全世界に5,600人以上の従業員を抱え、100を超える国と地域で事業展開し、数百万個の機器の植込み実績を誇っています。1963年にドイツ初の植込み型心臓ペースメーカーを開発して以来、BIOTRONIKは、市場にいくつものイノベーションを発表してきました。その代表的なものとして、2000年に米国で導入された世界初の心臓植込み型デバイスの遠隔モニタリングシステムであるBIOTRONIK Home Monitoring[®]や、2012年に欧州で認可された世界初の条件付きMRI対応植込み型除細動器および同両室ペーシング機能付き植込み型除細動器などがあります。

バイオトロニックジャパン株式会社について

バイオトロニックジャパン株式会社は、ドイツ・BIOTRONIK 社の心疾患治療技術をいち早く日本に導入するため、2003年10月に日本ビオトロニック株式会社として設立された日本法人です。2005年9月にバイオトロニックジャパン株式会社と改名しました。ドイツ企業特有の技術力と製品開発力、医師、コメディカルおよび患者さんのニーズを素早く反映するスピードを活かし、今後も日本における先端技術のイノベーションを目指して活動しています。

<http://www.biotronik.jp>

(本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先)

バイオトロニックジャパン株式会社

マーケティング部

プロダクトマネージャー

佐々木 博人

Tel: 03-3473-7476

E-mail: hiroto.sasaki@biotronik.com